

Population 人のうごき (福智町の人口)

- 人口 21,590人
前月比 - 55人
前年比 - 385人
 - 男性 10,308人
●女性 11,282人
 - 転入 42人・転出 75人
●出生 9人・死亡 32人
 - 世帯 11,051世帯
前月比 - 12世帯
前年比 - 18世帯
- ※令和4年9月1日現在(住民基本台帳人口)



お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
― 弔電はひかえさせていただきます ―

Tax おさめて安心 (税の納期限)

- 個人町県民税 [3期] 10月31日 日
- 国民健康保険税 [4期] 11月2日 日

Event テクホー net (近隣の催し)

添田町オークホール新能
新作能「はなぶさ英彦山」

英彦山や添田町の民話を題材とした新作の能楽を屋内新能として初披露。英彦山の「英(はなぶさ)」の謂れって知ってますか?天狗豊前坊や龍神などのここでしか観られない内容を、屋内新能でお楽しみいただけるこの機会をお見逃しなく!みなさまのご来場をお待ちしております。

- ① 日程 11月13日(日)
13:00 開場 14:00 開演
- ② 入場料 4,000円(全席自由)
※チケットはオークホールで販売中
- ③ 会場 オークホール ☎ 82-2559
〒824-0601 田川郡添田町大字庄952番地



Medical health

保健の掲示板

10月16日から11月15日までの保健事業日程

- 10月21日・11月11日 金 【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30~15:30
- コスモス保健センター以外での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせ下さい。
- 11月2日 水 【4~5か月児健診】
4~5か月児を対象(個人通知します)
[会場] 金田保健センター [受付] 13:30~14:00
- 11月9日 水 【1歳6か月児健診】
1歳6か月~1歳8か月児を対象(個人通知します)
[会場] 金田保健センター [受付] 13:00~14:00
- 【金田保健センターでの集団健診申し込み受付中!】
がん検診や国保健診・基本健診のお申し込み受付中です。この機会にぜひお申し込みください。
[日程] 10月30日 日・31日 日、11月1日 水・28日 日・29日 月
[会場] 金田保健センター
[申込先] コスモス保健センター
[申込方法] 電話、窓口、広報ふくち5・9月号掲載の健診申し込みはがきでお申し込みできます。
- ⑤ コスモス保健センター ☎ 28-9500
※新型コロナウイルスの状況によって変更することがあります。

Promotion for spread of an organ transplantation

【10月は臓器移植普及推進月間】
いのちへの優しさとおもいやり

大切な家族と「臓器提供」について日頃からよく話し合っ、自分の意思をきちんと伝えておきましょう。



⑤ (公財)福岡県メディカルセンター
☎ 092-432-5577

ワクチン + 感染防止対策で W の効果

ワンツーパーチでウィルスを撃退!

01 ワクチンで抗体を作ろう!

インフルエンザは、予防接種をすることで発症や重症化を防ぐことができます。予防接種を積極的に受けて、インフルエンザと新型コロナのダブルパンチを防ぎましょう。予防接種後、免疫ができるまで約2週間かかりますので、流行する前に受けるようにしましょう。

65歳以上の方には、助成がありますので折り返しチラシをご覧ください。



新型コロナも怖いけど

インフルエンザ

にも気を付けて!

毎年12月から3月にかけて、インフルエンザが流行します。感染力が強いので、流行しだすと一気に感染者が増加します。正しい知識を身につけてインフルエンザウイルスを体に入れないよう予防心がけることが重要です。



02 “日頃の感染防止対策”が大事!

- ✓ 3密の回避: 人の距離を1~2m以上とり、密閉、密集、密接の「3密」を避けましょう。
- ✓ マスク着用
- ✓ 手洗い
- ✓ 加湿: インフルエンザウイルスは、空気乾燥時に活発になります。加湿器などを利用して湿度を50~60%に保ちましょう。
- ✓ 生活習慣の改善: バランスの良い食生活、適度な運動と十分な睡眠、歯みがきなどで口の中を清潔に保つ、体を冷やさないことで免疫力を高めてウイルスを撃退しましょう。

感染が疑われるときは

急な発熱などインフルエンザが疑われるときは、新型コロナの可能性もあるので、まずは電話で「かかりつけ医」や「発熱外来」に相談しましょう。インフルエンザの治療薬がよく効く期間は、発症してから48時間以内とされているので、早めに電話で相談しましょう。



家族を看病するときの注意点

- ① 患者本人だけでなく、周囲の家族も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避けましょう。
- ② 家族への感染を避けるため、感染者はできるだけ家族と別の部屋で過ごす。部屋を分けられない場合も距離を保ち、寝るときは頭を互い違いにする工夫を。
- ③ 感染者を含め、家族全員がマスクをする。
- ④ 看病する人を限定する
- ⑤ 定期的に換気をする。
- ⑥ 小まめに手を洗う、アルコール製剤で手指を消毒する。手で触れる共用部分(ドアノブやスイッチなど)を消毒する。
- ⑦ 鼻をかんだティッシュやマスクなどは、密閉して捨てる。体液で汚れたリネン、衣類は他の物とは分けて洗濯する。

